

第3回沖縄県軽石問題対策会議 議事概要

日時 : 令和3年12月1日(水) 13:10~13:30

場所 : 6階第2特別会議室

出席者 : 玉城知事、謝花副知事、照屋副知事、島袋政策調整監
知事公室長、総務部長、企画振興統括監、環境部長、
保健医療部長、農漁村基盤統括監、文化観光スポーツ部長、
土木整備統括監

1 知事あいさつ

→知事から、軽石の漂着範囲が先島地域にも拡大しており、離島航路便の欠航などで県民生活へ影響が続いているほか、モズクやアーサなどの生育不良、漁船の出漁見合わせ、観光客の宿泊キャンセルなど、軽石の影響が多方面に広がってきているため、予算面での国との調整状況や軽石の利活用方法の検討状況を報告すること、引き続きスピード感をもって対応すること等の指示があった。

2 報告事項

(1) 漂着等の状況と対応について

3 議 題

(1) 各省庁との予算の調整状況について

(2) 軽石の利活用方法について

→ 環境部長、農漁村基盤統括監、土木整備統括監から資料に沿って報告事項及び議題について報告があった。

→ 照屋副知事からアイデア募集の採用の目途について質問あり、環境部長から募集は12月8日までだが、農林水産部や土木建築部等とともに早速検討に入るとの回答があった。

→ 照屋副知事から土木建築部の利活用方針について質問があり、土木整備統括監から長期的な強度などのデータがまだないため、当面は仮設道路等の簡易的、応急的な用途になるとの回答があった。

→ 知事から赤土流出対策にも使えないかとの質問があり、環境部長から赤土濁水等の濾過材として活用するアイデアがあるので、衛生環境研究所で試験に向けて準備を進めているとの回答があった。

→ 照屋副知事から仮置き場について要望が来ていないかとの質問があり、環境部長から恩納村では状況が改善しており、現時点で緊急的な要

望はないこと、県でも仮置き場確保の準備を進めているとの回答があった。

→ 謝花副知事から今後回収が進むと仮置き場が必要になるので準備するようにとの指示と災害復旧事業での仮置き場の期限、最終的な処分についての質問があり、土木整備統括監から年明けすぐに国の災害査定を受けるのでその時点で決まっている必要があるとの回答があった。農漁村基盤統括監からは、災害査定時点で利活用方法が決まっていなければ処分せざるを得ないとの回答があった。総務部長から災害査定の際に特殊性を国に説明すれば通常の査定と違う扱いをしてくれないか、すぐに処分するのではなく処分以外の方法も調整していただきたいとの意見があった。

司会から今回の議題について、質疑を踏まえて報告のとおり進めてよいかとの確認があり了承された。

知事から、被害状況について逐次情報を収集し報告すること、またその被害に対する対応についても適宜報告すること、さらに来年の5月頃までこの問題が長引くのではないかとされており、漁業関係あるいは離島において生活への影響が出ていることから一日も早く、除去、解消ができるよう全庁をあげて取り組んでいただきたい、との発言があった。

以上